

令和4年度第2回清瀬市防災会議議事録 会議録（要旨）

開催日時	令和5年2月14日（火）10時30分から12時00分まで
開催場所	清瀬市役所3階庁議室
出席者	<p>東京都北多摩北部建設事務所長          東京都水道局多摩水道改革推進本部立川給水管理事務所長          警視庁東村山警察署長代理          東京消防庁清瀬消防署長代理          清瀬市消防団長          陸上自衛隊第一師団第一後方支援連隊補給隊長代理          国土交通省関東地方整備局相武国道事務所長代理          東京電力パワーグリッド株式会社武蔵野支社長代理          東京ガスネットワーク株式会社東京西支店長代理          NTT東日本 東京事業部 東京武蔵野支社長          清瀬市議会議長          清瀬市議会総務文教常任委員会委員長          清瀬市立小・中学校校長会会長（清瀬第六小学校）          社会福祉法人清瀬市社会福祉協議会事務局長          清瀬市シニアクラブ連合会 会長          清瀬防災女性の会 会長          清瀬市六小地区自治会連合会          清瀬市民生委員児童委員協議会副会長          公益財団法人結核予防会複十字訪問看護ステーション管理者          清瀬市内14校PTA・保護者会等連絡協議会代表（清明小学校）          清瀬市教育委員会教育長</p>
傍聴者数	0人
次第	<p>1 会長挨拶（会長代理：清瀬市教育委員会教育長）          2 議題          清瀬市地域防災計画（令和5年2月修正原案）の審議について          3 その他</p>
議事の要旨	<p>1 会長挨拶（以下議事進行は会長）          2 議題          清瀬市地域防災計画（令和5年2月修正原案）の審議について          事務局から資料を用いて清瀬市地域防災計画【修正の概要】（地域防災計画の目的、地域防災計画の構成、主な修正のポイントなど）や東京都との事前協議結果を踏まえた修正内容を説明した。また、清瀬市地域防災計画の修正に係るパブリックコメントの結果について報告した（パブリックコメントでは1件のご意見を頂戴したが、ご意見による地域防災計画の修正はなし）。          会長より事務局の説明に対する意見を求めた。  <b>【議事要旨】</b></p>

**【清瀬防災女性の会 会長】**

- ・外国人住民に対する防災への取組に関して、市から外国人住民に対して防災に関する指導や教育はしているのか。

**【事務局】**

⇒現在、避難所運営協議会では防災訓練を実施する中で、外国人住民にも参加していただいている。ただし、参加者が少ないことが課題である。また、清瀬市防災マップ・洪水ハザードマップでも外国語表記をしており、外国人住民に読んでもらい、防災に参加していただけるような取組を実施している。

**【清瀬市内14校PTA・保護者会等連絡協議会 代表】**

- ・今回の修正で、女性や高齢者、障害者、子供、外国人等に対するきめ細かい配慮の必要性は追加されたということで、それが避難所運営にも大きく関わってくると思っている。各校で避難所運営委員会の立ち上がり方にばらつきがあるのが事実で、メンバーも入れ替わり全く引き継ぎができていない状態になっているところもある。そのため、こういう新しい情報も含めて、避難所運営委員のマニュアルも更新が必要であるし、避難所運営委員の横の繋がりの部分も強化していく必要があると感じた。

**【事務局】**

⇒1点目の各避難所のばらつきの件であるが、やはりばらつきがあると認識している。各避難所運営協議会を構成するのは、学校の先生方や市役所の職員、地域の住民であり、高齢者の方が非常に多く、例えば、体のご都合で参加できないとか、中には若い方が積極的に参加できている避難所運営協議会もある。そういった観点で、各避難所運営協議会の運営のばらつきが実際に見えているところである。市としては、今後、避難所運営協議会をより強化し、女性の取組に関しても、男女共同参画に基づき、実際に重要な役割を担う班長などの3分の1以上を女性にするなど、女性の方を増やしていく。また、災害時に必要な要配慮者のケアが非常に大切になってくるため、そういった要配慮者のケアを自治会、避難所運営協議会単位でサポートしていくような体制にも取り組んでいく。

マニュアルの更新や横の繋がりに関しても、新型コロナが収束に向かいつつあるため、今後、積極的に避難所運営協議会と防災訓練を積極的に行い、横の繋がり等を強化していきたいと思っている。

**【清瀬市シニアクラブ連合会 会長】**

- ・清瀬市の防災訓練に参加したことがあるが、子供たちが一生懸命に参加していた。これからの社会を担っていく子供たちがしっかりと危機意識を持つということは大変重要なことと考えている。特に身内からのアドバイスというのはとても効き目があると考えているため、ぜひ、今後も清瀬市の子供たちも一緒に

防災訓練を最後まで参加できる体制をとっていただきたい。

**【清瀬市立小・中学校校長会 会長】**

- ・子供の防災意識ということで、学校では現在、月1回、必ず避難訓練を行っている。ただし毎月やっていると慣れてしまい惰性で行ってしまう。それでは子供たちの命を守れない、子供たちの意識を高めるという意味で避難訓練のやり直しをした。3.11を知らない教員も増えている。大人側が3.11を子供に伝えていくことは、学校の中で非常に大切であると実感している。若い教員は3.11を体験していないというのが実態であるため、その上の教員が若い教員、子供に伝えて、子供が大人にフィードバックしていくというサイクルができれば良いと思っている。学校側の会議、校長会の方でも広げて、子供の防災意識を高めていきたい。
- ・清瀬第六小学校では、清瀬市で初めてコミュニティスクールという地域運営学校というスタイルをとった学校であるため、地域の方に様々な意見をいただきながら運営している。防災訓練についても、コミュニティの中の1つの取組として位置づけて行った。その中で出たのが、顔見知りになりたい、地域の高齢者の方、挨拶をするようにしてほしいというようなご意見であり、地域との関わりでは、まず顔見知りに子供と地域の方がなる、というようなことを今やり始めている。世代を越えて顔を繋ぐ、そんなことを大切にしていきたいと考えている。

**【清瀬市シニアクラブ連合会 会長】**

- ・高齢者は今とても元気である。シニアクラブでは、色々なキャリアをお持ちの方がいるが、その他世代にどういう風に広げていけばよいのか、お分かりになっていない方も多い。今後、行政の方や様々な団体の方からご指導を賜りながら、本当に社会に役立つシニアクラブとして発展をしていきたいと思っている。

**【清瀬市議会議長】**

- ・3点ほど意見がある。今までの色々なご意見等と関連するが、まず、シニアクラブの活用についてである。シニアクラブに入っているが元気な方も多い。避難なども含めて、障害をお持ちの方などに色々な情報を与える際にシニアクラブを活用すべきと思っている。そういう意味では講習会も含めて対象にシニアクラブも含めて考えていただければ良い。
- 2点目は、やはり外国人の方が増えている。日常的な買い物でも言語に壁があって難しい点もあり、災害時になるとそれがもっと高くなると思っている。東京都との協議では、東京都防災（語学）ボランティアの派遣要請は、東京都災害ボランティアセンターを経由せず、区市町村又は区市町村災害ボランティアセンターが、直接東京都外国人災害時情報センターに派遣要請を行う仕組みに変更されたため修正としているが、部分的な災害だとそれも可能であるが、例

えば大震災で東京全域が被害となったときに、直接、東京都ボランティアセンターに電話をかけても繋がらないことも多分にあると思う。例えば、清瀬市では国際交流会という言語の堪能な方がたくさんいらっしゃる。市としてこういう民間の団体も活用すべきではないかと思っている。

3点目は柳瀬川流域の豪雨対策についてである。これまで確か流域協議会があって、それぞれの流域の市の市民団体と色々な協議をしていた。最近協議したという情報が入ってこないため、おそらくコロナ禍で会が開かれていないと思うが、新型コロナも5月に2類から5類へ移行されることから、ぜひ流域協議会をまた活用してやっていただきたい。

**【清瀬防災女性の会 会長】**

- ・委員の皆様、清瀬の場合はどういうところを注意したら良いかを一言おっしゃっていただければ参考になるのではないかと。

**【東京都北多摩北部建設事務所長】**

- ・大雨の時に限定させていただくが、川に近づかないでくださいということだけである。今、YouTubeの東京都水防チャンネルで、清瀬市内の河川を映しているカメラがたくさん出てくる。GoogleでYouTube 東京都水防災と検索するとたくさんカメラが出てくるので、そこでご自分の近くの河川のカメラを見ていただければと思う。

**【東京都水道局多摩水道改革推進本部立川給水管理事務所長】**

- ・清瀬市内では清瀬梅園給水所など3か所、応急給水拠点があり、万が一、断水した場合は、そちらの方に水を取りに来ていただくことにさせていただいているため、日頃から水を準備していただくと良いと思う。また、水道で水が出ても、マンションなどでは停電してしまうと水が出なくなるため、そういう場合に備えて1人1日3リットルと言われているが、水の汲み置きをお願いしたい。

**【警視庁東村山警察署長代理】**

- ・清瀬市で一番気にしなければならないことは、大震災の時に倒壊家屋の下敷きになることと思う。その時に誰がいなくなったなどがすぐにわかるよう、町内会などで連携意識を高めて、積極的に防災意識を高めて皆さんと連絡・協調することが一番大事ではないかと思う。また、日頃から防災グッズを用意しておくことも、まちぐるみで進めていけば、より一層良くなると感じている。

**【東京消防庁清瀬消防署長代理】**

- ・本日、出席者がそれぞれ自分の立場で、地域でどうすれば良いのかということに真剣にお話になっている姿を見て、すごく学べるものがあった。本当にこれがまさしく財産だと思う。これを無くさないように、特に子供たちにこれを引

き継いでいく、これを守らないといけないということをお願いしたいなという補助としての立場で感じさせていただいた。

**【清瀬市消防団長】**

- ・古い建物が多ということなので、震災等があったら子供も高齢者の方もまず身の安全を確保してから外に出ると思うが、塀の倒壊、倒木等もあると思うので注意していただきたい。あとは、常日頃散歩しているだけでも、一言二言でも声をかけて横の繋がりを意識していただき、それで皆さんで気を付けようねというようなことが、本当に震災があったときには、一番何よりの強みというか、それに繋がると思う。

**【陸上自衛隊第一師団第一後方支援連隊補給隊長代理】**

- ・清瀬市は、道路が狭い部分があるため、避難するにあたって、多分パニックになって避難するのに結構時間がかかるというのはあると思う。そのため、しっかりとした避難経路の確保をしていただきたい。

**【国土交通省関東地方整備局相武国道事務所長代理】**

- ・市長と我々の事務所長との間でリエゾン協定を結ばせていただいている。また、ホットラインというものを常時構築できるような体制を作っており、何かあった際には市民からの要望に対してのお応えができると考えている。  
大規模で東京都全域が被災したらどうなるんだという場合は、国土交通省にはTEC FORCEという組織を構築しており、各地方から色々な資機材を持って何も言わなくても黙ってやってくる。自衛隊や警察、消防と連携をしながら地域のために活動するということができる仕込みがあるため、そういったものをより活用していただく仕組みを我々ももっとアピールすべきと考えている。また、例えば出前講座というものを持っており、災害時の教訓をお伝えすることもできるため、活用していただければと思う。

**【東京電力パワーグリッド株式会社武蔵野支社長代理】**

- ・身近なことで申し上げますと、大きな災害が起きた時というのは、電柱が倒れていたり、電線が切断されていたりする場面が多々あるかと思っている。そのときに、どこですぐ電気が切れているかは見た目ではわからないため、必ず触れないようにしていただきたい。  
日頃、停電が発生しやすいということで申し上げますと、山側などでは自然のものが倒れて停電が起きる、電柱が倒れる、あるいは電線が切れるということが発生しやすいため、そういったエリアはより注意が必要と思っている。災害の時に、東京電力と東京ガス、NTTで三者協定を結んで連携を取り、地域の皆様にどんなことができるかをこれから考えていこうというようなことを始めている。そういった協定の連携の中で、より皆様に安心して生活していただけるようなことを考えていきたい。

**【東京ガスネットワーク株式会社東京西支店長代理】**

- ・都市ガスは大きな地震があったときに震度5以上でガスメーターが止まる。どこを注意してほしいというよりは、ガスメーターが止まったときに実は簡単に直せるということを知っていただきたい。ガスメーターに直し方がぶら下がっているため、それを見れば冷静に直せるのだが、ガス会社に電話してしまう方が多い。その結果、電話が繋がらずいつまでたっても自宅のガスが使えない状況が続くため、ぜひ知っておいていただきたい。

**【NTT東日本武蔵野支社 東京事業部 東京武蔵野支社長】**

- ・今回の会議の中でも、パブリックコメントで通信インフラが正常に機能しなくなった場合についてのご意見が少数だがあったというお話をいただいた。もし仮に通信ができなくなったとき、地域防災計画に則った形で復旧していくとともに、災害を起こさないための対策を一步ずつ進めていく。

以上の意見等を経て、清瀬市地域防災計画修正原案のとおり、改訂について了承された。

3 その他

**【連絡事項】**

事務局から令和5年5月13日（土）に清瀬市水防訓練、10月15日（日）に清瀬市総合防災訓練を実施する予定であることについて報告した。

4 閉会